

## 令和4年度 学校評価 生徒・保護者アンケート結果（6月実施）について

### 1 学校評価について

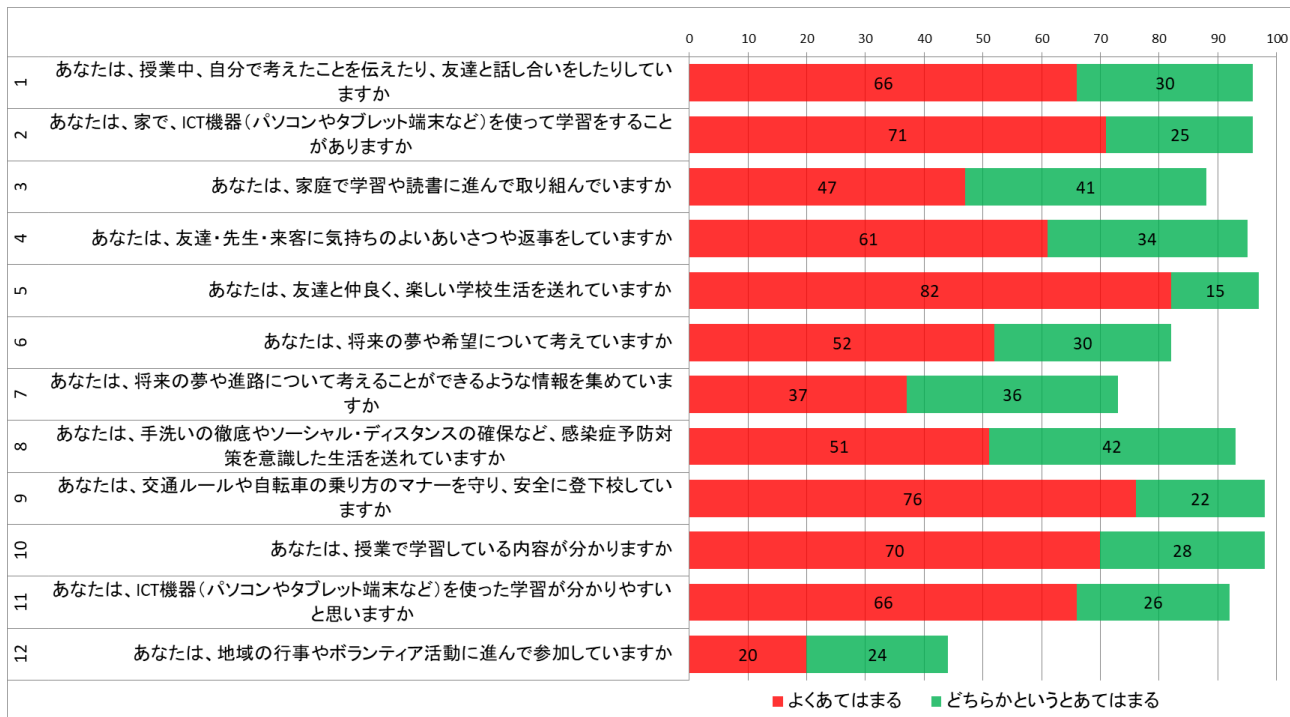
本校では、次のように学校評価を実施しています。

- (1) 生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。
- (2) アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教職員による自己評価を行う。
- (3) 学校関係者評価や自己評価の分析から明らかになった課題を基に、改善に向けた活動を行う。

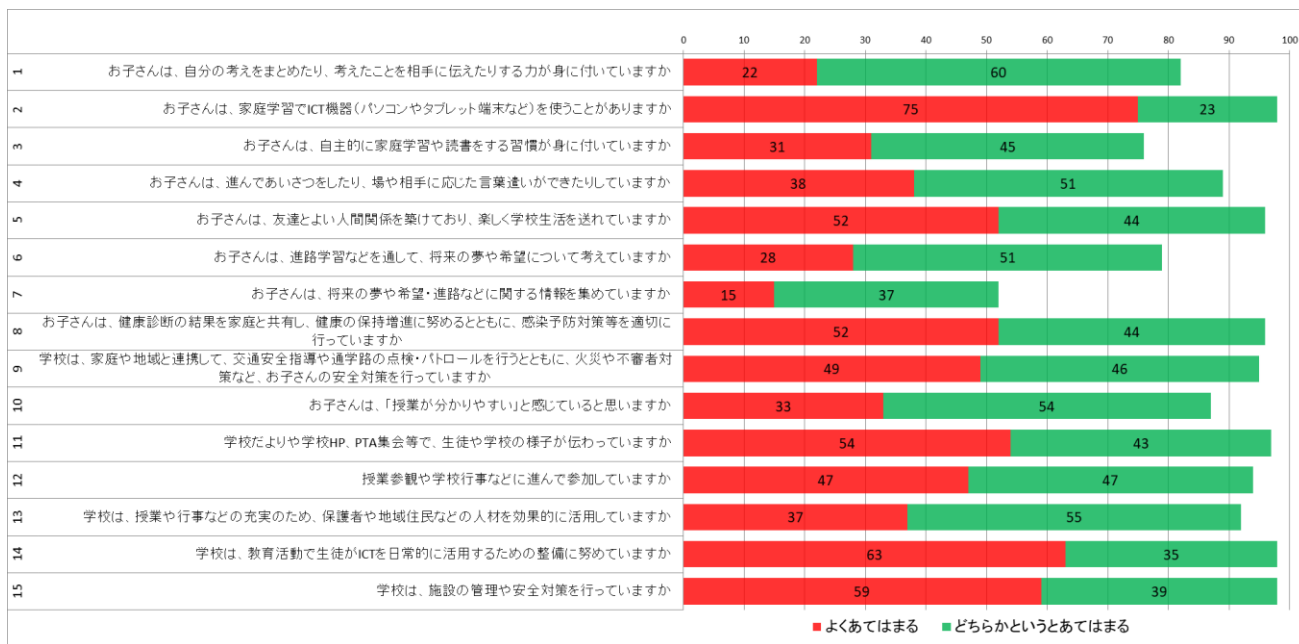
### 2 資料の見方

- (1) 配布したグラフの資料をご覧ください。アンケートの回答の「よくあてはまる」・「どちらかというとあてはまる」・「どちらかというとあてはまらない」・「まったくあてはまらない」のうち、「よくあてはまる」・「どちらかというとあてはまる」の合計の割合をグラフにしました。
- (2) 別紙の資料は、「よくあてはまる」・「どちらかというとあてはまる」の合計の割合が低かった項目（70%以下）について、＜生徒＞と＜保護者＞に分け、現状や改善に向けての方針、ご協力のお願ひなどについてまとめています。

## 令和4年度第1回学校評価アンケート＜生徒＞6月実施



## 令和4年度第1回学校評価アンケート＜保護者＞6月実施



「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計の割合が低かった項目(70%以下)について

#### <保護者>

質問番号7「お子さんは、将来の夢や希望・進路などに関する情報を集めていますか」52%

キャリア教育・進路学習の充実は、生徒の社会的・職業的自立に向け必要となる能力や態度を育むために大変重要であると考えています。進路の選択や将来設計は、中学校卒業後の就職や進学について意思決定することがゴールではないため、常に将来設計を描き直したり、目標を段階的に修正したりして、自己実現に向けて努力して行くことができるようにすることが大切になります。

本校では、生徒一人一人が自ら情報を収集し、自分の興味・関心などの個性を理解した上で、目指すべき自己の将来像を描くことができるよう、キャリア教育を教育課程全体で行っています。

具体的には、オンライン企業訪問や職業教室などを通して様々な企業の方と交流し、職業や自分の将来について考える機会を設定しています。また、進路講演会や合格体験講話などを開催し、本校卒業生等の多方面で活躍するOB・OG、合格を果たした先輩の話聞く機会を設けることで、自己実現に向けた自己の取組を見直せるようにしています。また、今年度より、総合的な学習の時間を「未来創造科」と改めカリキュラムを再構築し、自分の生き方を見つめる機会としています。

しかし、現在の取組では、生徒が自己の夢や希望、人生と生きがい、将来設計などについて自分ごととして捉え、必要な情報を集めることが十分に行えていないと捉えています。上級学校調べなどの学習を通して、自己理解を深めながら自らの希望や思いに沿って将来を考えていく活動の充実を図っていきたいと思います。また、生徒や保護者から進路についての疑問や悩み・不安を聞き、一人一人に合った適切な支援ができるよう、PTA 集会や三者面談、進路通信等の機会を通して、進路に関する適切な情報を提供していきたいと思います。

#### <生徒>

質問番号12「あなたは、地域の行事やボランティア活動に進んで参加していますか」44%

本校では、総合的な学習の時間「未来創造科」の中で、未来を生きる本校の生徒が、よりよい社会と幸福な人生を自ら切り拓くことができるよう指導を行っています。

総合的な学習の時間を充実させるには、保護者や地域の人、専門家などの多様な人々の協力、社会教育施設や社会教育団体等の施設・設備など、様々な教育資源を活用することが大切であると言われていきます。地域で行われる活動に生徒が参画したり、教室に招いて専門家の話を聞いたりするなどの学習活動を行っていくことで、生徒の学習をより一層深めることができると考えられています。

本校では、地域を対象とした探究課題を設定したり、課題解決に向けて地域の方と交流したりと、様々な場面で地域と関わらせて学習活動を行っていきます。また、保護者や地域住民、企業などに向けた発表会を開き、参加された方からの助言を受ける機会を設定します。それらの活動を通して、協働して取り組むことの大切さや地域社会に参画する喜びを実感することにつなげていきたいと考えています。

総合的な学習の時間を中心に、地域に根差した学習活動を行うことで、生徒の地域参画に対する意識を高め、地域の行事やボランティア活動に進んで参加する生徒を育みたいと思います。